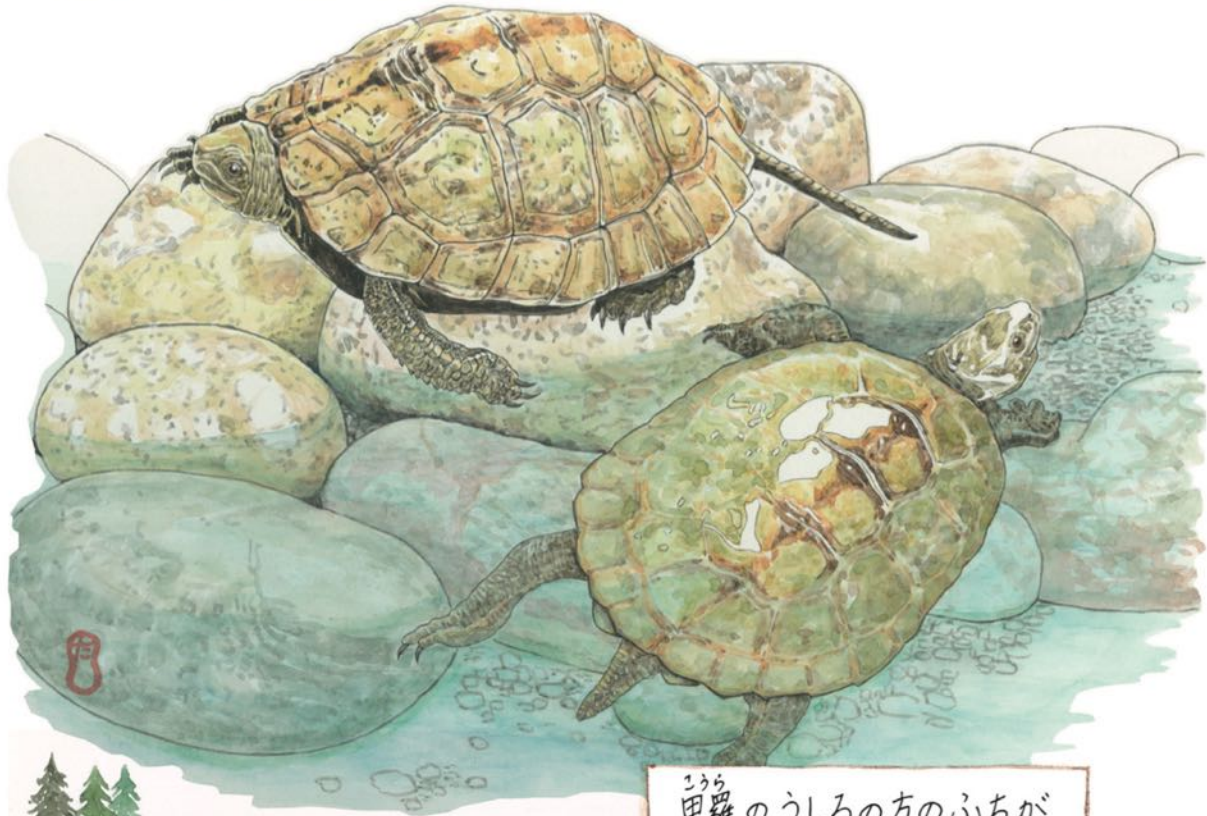
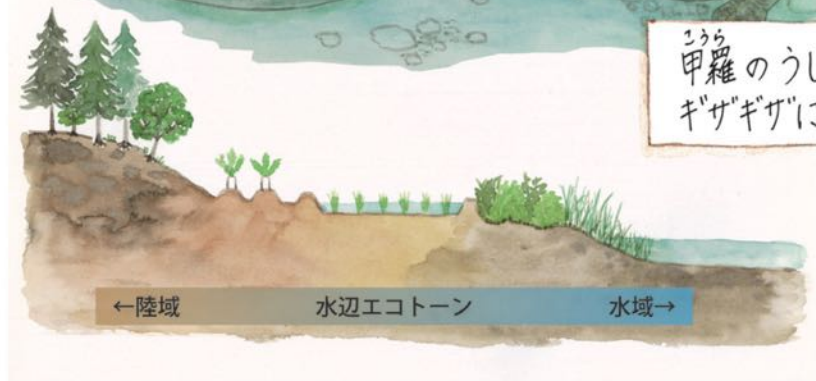


イラスト：渡辺 崇(日本画家/文化の森学習係)

甲羅の長さは13~18cmです。
AMIKAMO CITY MUSEUM



甲羅のうしろの方のふちがギザギザになっています。
AMIKAMO CITY MUSEUM



ニホンイシガメ (イシガメ科)

古来より日本人にとっても親しまれ、子ガメは甲羅が丸いため「銭がめ」と呼ばれ、子どもたちに愛されてきました。秋から春にかけて水中で交尾をし、夏に地面に穴を掘って産卵します。本種には、普段の生活の場である「水辺」と産卵に適した畑や土手などの「陸地」の両方が備わった水辺エコトーンと呼ばれる環境が必要ですが、近年どんどんそういった環境が失われています。

また、ミシシippアカミミガメとの競合、クサガメとの交配による遺伝子汚染、アライグマによる捕食に加えて、ペット用の乱獲など、ますます数を減らしています。

(美濃加茂自然史研究会 高木雅紀)

